

玉村町活性化プランコンテストに応募しました

国際コミュニケーション学部 教授 甲村 美帆

玉村町に若い世代を呼び込みたい！——この春、玉村町が企画・募集した「玉村町活性化プランコンテスト」に、群馬県立女子大学生が応募しました。大学生の発想は大胆です。町の知名度を上げるために、特産の小麦粉や豚肉を使った巨大なおっきりこみで世界一を狙おう、夜の暗さを逆手にとって、都市部から訪れる人を増やす天体観測イベントを実施しよう、など。多彩な活性化案が集まりました。

活性化案に応募したといっても、やみくもに考えた奇想天外なプランを提出したわけではありません。本学国際コミュニケーション学部の学生は、初年次に全員が「問題解決とリーダーシップ」という授業を履修します。この授業では、現代社会で起こりうる「正解のない問題」を題材としつつ、論理的思考法やビジネス界で使われる「SWOT分析」「ポートフォリオ分析」などの、考えるためのツールを学びます。いわば、学ぶための武器を手に入れるための授業です。多様な思考ツールを一通り手にした学生たちは、さっそく「玉村町を活性化させるにはどうすればよいか」という問題に向かって、知恵を出し合いました。町が発行

する人口ビジョンなどの調査資料や行政資料、他市町村の取り組み報告なども参考にしながら、思考ツールを駆使してグループごとにアイデアを提出し、絞り込んでいきました。

まとめられたアイデアは、まず授業の中でプレゼンテーションとして発表されました。その後、個人が自分独自のアイデアも盛り込みながら、提案書の形でレポートに仕上げました。学内の教員の選考を経て、優秀だった提案書だけが、ようやく玉村町のコンテストに応募されたわけです。

最終的に最優秀賞を獲得したのは、国際コミュニケーション学部2年・赤坂さんの提案書でした。宿泊型サバイバルキャンプ—自然災害を想定したキャンプ—を実施することで、レクリエーションを楽しむ感覚で防災意識を高め、子育て世代を含む地域コミュニティの再生、強化を図ろうとするプランです。

独創的なアイデアは、他の学生からもたくさん生まれました。フレッシュな感覚が湧水のようにあふれる女子大学、玉村町でありつづけたいと思います。

住民自治のまちづくり

経営企画課
☎64-7711

平成30年度 協働によるまちづくり 提案事業 実施団体募集中

玉村町と協働して、地域の身近な課題を解決しようとする団体を募集します。役場内の各担当と事業内容や役割分担を相談して決めてから実行となります。

採用されると、こんなメリット(利点)が

- ①行政と協力関係であることがアピールできます！
- ②事業費として最大30万円の補助金が申請できます！
- ③団体の活動の宣伝にもなります！

募集事業

○自由提案事業 住民が考える地域課題とその解決に向けた行政との協働事業を募集します。

おおまかな応募要件

- 3人以上の住民で組織
- 1年以上の活動見込がある
- 営利目的・政治・宗教活動・暴力団関係でないこと

事業実施期間

平成30年4月～平成31年3月 ※提案事業の実施決定は3月議会議決を経てからになります。

応募期限

12月27日(水) ※経営企画課が窓口となって、役場内各担当と事業化に関する相談・協議を仲介します。初歩からの相談でも構いませんので、お気軽にご相談・ご応募ください。

応募先・問い合わせ

経営企画課 生涯活躍推進係 ☎64-7711 メール keiei@town.tamamura.lg.jp